

ひまわり幼稚園 令和6年度 重点目標並びに自己評価表

(計画段階 ・ **実施段階**)

幼稚園運営計画				評価(3月)		
運営方針	「知・徳・体・意」の精神のもと、文化の向上と世界の平和に貢献する人を育てる。					
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標				
昨年度は様々な経験の中で子どもたちの成長を感じ、保護者にも園での成長を見てもらう機会があったが、満足度の達成には至らなかった。今年度は園児・保護者・職員が同じ方向を向いてクオリティを上げ、行事に取り組み満足度を上げる。	興味や関心を持ち、積極的に活動する「賢い」子どもを育成する。	・教職員が「時を守り、場を清め、礼を正す」を率先垂範する。 ・たくさん褒め、認め、挑戦する楽しさを伝え自信につなげる。	B			
	誰にでも笑顔で接し、思いやりのある「優しい」子どもを育成する。	・思考力の芽生え、協調性、言葉で伝えあう大切さを学ぶ。 ・友だち同士の関わりの中で思いやりの心を持ち心豊かに成長する。				
	意志力・気力を持ち、生き生きとした「元気な」子どもを育成する。	・好奇心、気力、集中力、元気を基盤とした教育をする。 ・個々の成長、発達性をふまえ幼児の主体性を育てる。				
	教育内容の「PDCA」を計画的に実践、教員のクオリティをあげる。	・PDCAを明確にして子どもの成長につなげる。 ・保育の振り返りを積み重ね、クオリティを向上させる。				
	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
健康・安全の指導	健全な心と身体の育成	・自ら進んで身体を十分動かし、身体を動かす楽しさを味わう。 ・単縄とび30回、大縄とび10回を目標に日々の活動内で基礎体力をつける。	A	A	A	暑熱順化・寒冷順化を実践しながら、身体を動かすことを毎日ルーティン化することで基礎体力の向上を目指す。また縦割りの交流内での定期的な掃除や朝の身支度時は年長児が手本となり、低年齢児の世話をしたりする中で縦の関わりも大切にしたい。
	充実した活動ができる環境整備	・定期的掃除や月1回大掃除を実施し、身の回りを清潔に保つ。 ・衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動は自分でする。	B	B		
社会性・人間関係の育成	基本的な生活習慣の習得	・時間を守り、5K(気付く人、心を磨く、謙虚になる、感動の心を育み、感謝の心が芽生える)を実践する。 ・教員が手本となり挨拶、返事の実践を自ら進んで行う。	B	A	A	基本的な生活習慣の習得は日常の積み重ねが重要であり、保育教諭が率先垂範していく。子どもたちを枠にはめず、たくさんの経験の中で考えて行動する力を養う。また、ありがとうのシャワーをたくさん浴びる声かけや遊びを実践し、望ましい生活習慣を身につける。
	望ましい人間関係の構築	・良い事、悪い事を理解し、決まりの大切さに気付き、考えて行動する。 ・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	B	B		
ことば感覚・表現力の育成	正しいことば感覚の育成	・読み聞かせ年間100冊を実践し、語彙力を増やす。 ・友だちとの関わりの中で必要な言葉を理解し、使うことができる。	A	A	B	個々の保育時間だけでなく園全体の保育活動を通じて季節感覚や視力、聴力、触覚などの五感を育む活動を推進していく。そのための環境整備と教材研究に尽力するとともに保護者との関係を密にしなが、質の高い親子関係の構築に寄与したい。
	感性豊かな表現力の育成	・季節の歌や音楽を歌ったり聴いたりすることで、感受する力を育て、表現する力の要素を育む。 ・様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりして五感を育てる。	A	B		
その他	居心地の良い保育環境の設定	・ICT化推進、保護者配付物データ化を実施し、業務の仕組化を達成する。 ・定期的に生活実態アンケートを実施して満足度100%を継続する。	A	A	B	生活アンケートや行事後のアンケート結果を裏手に受け止め、日常の保護者とのコミュニケーションを通じて、全教職員で寄り添う態勢を強化する。HPやSNSの迅速な更新で最新情報を提供する広報活動を進め、特に未就園児への対応に配慮したイベントの質的向上を目指す。
	幅広い広報活動の充実	・職員1人1人が園児募集に対しての認識を高め、ポスターを1人30枚掲示する。 ・子育て支援活動を充実させ、園児数100名、体験入園参加数200名を達成する。	B	B		